

第9回いけいけチャレンジ！遠賀川 発表会

1) 日時

平成25年3月2日(土) 13:00～15:35

2) 場所

遠賀川地域防災施設(遠賀川水辺館)

3) プログラム

13:00	開会
13:15	直方市立下境小学校 「見つめようわたしたちの川・遠賀川」
13:35	水巻町立帆小学校 「遠賀川を守るために私たちにできること」 ～環境と生物のかかわりから～
13:55	岡垣町立吉木小学校 「わたしたちの「ちたる川」」
14:15	休憩
14:25	嘉麻市率下山田小学校 「遠賀川探検隊」
14:45	北九州市立香月小学校 「知らせよう。地域の笹尾川を」
15:05	休憩
15:15	全体講評
15:25	表彰式
15:35	閉会
15:45	記念撮影

4) 発表概要

(1) 直方市立下境小学校 「私たちと 遠賀川」

◆ 発表概要

- ・ 総合的な学習の時間を使って、1年間、遠賀川について調べた以下の調査結果についてパワーポイントやクイズ・劇の形式で発表した。
- ・ 遠賀川はかつて、きれいな川にすむ鮭が九州で唯一のぼってくる川だったが、炭鉱が栄えた時代に川で炭を洗うなどで遠賀川が汚れていき、鮭の姿も無くなってしまった。
- ・ 遠賀川河川事務所の方々に協力していただき実施した水生生物調査を行い、川にいた生物から遠賀川の水質を推定し、パックテストを使った水質調査を行った。
- ・ 現在では、炭鉱が栄えた時代に比べて遠賀川はきれいになったが、遠賀川の水質は九州の川でも良くないことが分かり、その原因が流域に住む人々の生活排水にあった。
- ・ 遠賀川にすむ魚や昆虫、植物などの生きものについて調べ、食事の食べ残しや飲み残しを川に流さないこと、洗剤をたくさん使わないように工夫すること、ゴミを川に捨てないことなど、遠賀川に多くの魚が来てもらえるように、児童たちは川を汚さないと宣言した。



(2) 水巻町立帆小学校 「遠賀川を守るために私たちにできること」
～環境と生物のかかわりから～

◆ 発表概要

- ・ ○×クイズによって、現地に行って児童が調べた佐賀県有明海の干潟について、干潟の成り立ち、干潟に住む生きもの、干潟での漁業、干潟を活用した遊びについて発表した。
- ・ 干潟を体験することで、干潟の生きもの児童たちの生活が深く関わっていることと感じ、そこで、身の回りの環境と生きもののがどのように関わっているのか調べた。
- ・ まず、曲川、遠賀川、明神ヶ辻の水質について予想を立て、それぞれの水質について、川の水調査セットを使って川の水質（COD）を調べた。その結果、明神ヶ辻、遠賀川、曲川の順に水質が良いことが分かった。遠賀川、曲川はゴミが多く家庭からの排水が流れ込んでくるため、明神ヶ辻は山の中の天然水であるためであることが分かった。
- ・ そこから導かれたのは、児童たちの家庭から出している生活排水やゴミによって川の水を汚していることだった。
- ・ 遠賀川とそこにすむ生きものを守るために、ビオトープで生きものが住みやすい環境を創る、EM菌で川の水をきれいにする、ダンボールコンポストを作って生ゴミを減らす、廃油石鹸を作って川に流す油を減らす、児童たちにできることを考えた。
- ・ このようなことが遠賀川を守ることに繋がること、そして、一人ひとりが日ごろの生活のなかで川をきれいにする意識を取り組んでいくことが遠賀川を守ることに繋がることを訴えた。



(3) 岡垣町立吉木小学校 「わたしたちの「ちたる川」」

◆ 発表概要

- ・ 吉木小学校の側をながれる「ちたる川」について調べたことをパワーポイントや模造紙・クイズ形式で発表した。
- ・ 調べた内容は、ちたる川の名前（以降、汐入川）、自然、ゴミ問題、水質、汐入川の源流について、その中でも水の汚れについて調べてみたら、汐入川は少し汚れていることが分かった。
- ・ なぜ汐入川が汚れているのか調べた結果、せんとくの水、台所の水、お風呂の水が流れ込んでくるからです。また、ペットボトルや空き缶、ビニル、紙くずなどすてられたゴミも汐入川を汚している原因だということが分かった。
- ・ そして、汐入川を守るために、児童たちにできることを考えてみた結果、①道路や川にゴミをすてない、②汚れた水を川に流さない、③そのために、下水道や浄化槽を設置する、④みんなで川のゴミひろいをする、⑤川のごれのことをみんなに知らせることを決めた。



(4) 嘉麻市立下山田小学校 「遠賀川探検隊」

◆ 発表概要

- ・ 毎日見ている山田川について、不思議に思っていることを調べた結果をパワーポイントの形式で発表した。
- ・ 下山田川は、ゴミも散らかっているし水も濁っているため、とても汚いと思った。山田川をホテルが来るくらいきれいな川にしたいと思い、どのようにしたら川をきれいにするか調べてみたり聞いてみた結果、水質を調べるために、COD パックテストと水生生物調査の2つの方法を教えてもらった。
- ・ 調べているうちに、遠賀川に住む魚について興味をもったので、I Love 遠賀川に参加して魚とりをして食べたり学校に持ち帰ったりした。持ち帰った魚を育てるために、魚の餌や特徴について調べた。そして魚の餌や特徴について調べた結果を1年生に紹介したり、ビオトープに放した魚の紹介をしたり、ビオトープに住む魚のための9つの注意を考えた内容を発表し、遠賀川に住む魚について調べた結果を紹介した。
- ・ 山田川が汚れている理由として、生活ゴミ、生活排水が原因であると分かったこと、そしてこれらの原因を改善するために自分たちでできることを紹介し、みんなで川をきれいにしていこうと訴えた。



(5) 北九州市立香月小学校 「知らせよう。地域の笹尾川を」

◆ 発表概要

- ・ 北九州大学や環境局、地域の方々と一緒に、地域を流れる笹尾川の調査探検学習を行った内容について、パワーポイントや学習のようすを再現した劇の形式で発表した。
- ・ 笹尾川に行ったときに児童たちが感じたこと、CODのパックテストでは思ったよりきれいだったこと、笹小川に住む魚たちへのインタビューによる魚の住み心地などを紹介した。
- ・ 地域とのつながりとして、児童が地域の方々になりきって、地域で行っているカヌー体験や投網体験などを紹介した。
- ・ 川を守るために自分たちでできることとして、川を汚さない、ゴミを捨てない、こうやって川の勉強をしていくこと、これからも学習を続けて笹小川だけでなく日本中に川や自然を守っていききたいと宣言した。

